

**新型コロナウイルスに関する  
大分三愛メディカルセンターからの重要なお知らせ  
(2021年6月25日 更新)**

6月25日(金)現在、大分県における新型コロナウイルス感染状況は「ステージ1」をうかがえるレベルに落ち着きつつあります。

大分三愛メディカルセンターでは、2020年4月(第1波)から軽症患者さんの入院を受け入れておりました。2021年5月10日(月)より、4月頃からの第4波に対応するため、一般病床のうち1フロアを「新型コロナウイルス感染症専用病床」に転換し、軽症から中等症までの多くの患者さんを受け入れ治療を行って参りました。

現時点での県内の感染状況を鑑み、6月28日(月)より新型コロナ感染症専用病床を縮小し、第4波以前の入院診療体制に戻すことにいたしました。

こういった状況に伴い、以下の点についてご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■ 外来患者さん・入院予定患者さんへ

今後も「新型コロナウイルス感染症 専用病床」を維持するため、一般的な疾患の患者さんが入院できる病床数が、コロナ禍以前より少なくなっております。入院予定・手術予定などの日程が遅れる可能性のほか、受診・入院・退院に関してご不便をおかけする場合がございますので、引き続きご承知おきください。

■ 救急患者さんの受入れについて

当院は、急病や外傷などの救急患者さんを受け入れている二次救急病院です。病床数の減少に伴い、入院を必要とする救急患者さんの受け入れにも、未だ多少の影響が出ています。当院は大分大学医学部附属病院、大分県立病院、大分市医師会立アルメイダ病院などの基幹病院とも連携・協力しております。医療機関や救急隊からの救急患者さんの受け入れ要請には、中部医療圏全体として支障を来たすことのないよう努めております。ご安心いただければと存じます。

■ 医療・介護機関の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症患者さんの病床確保のため、一般の患者さんが入院できる病床数が未だ減少しています。これまで迅速な入院受け入れを心がけて参りましたが、コロナ禍以前

のような入院対応は困難になる可能性がございます。引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

■ 最後に

大分県では新型コロナウイルス感染者数は減少傾向ですが、首都圏では横ばいないし漸増状況です。ワクチン接種も急速に進みつつありますが、集団免疫が獲得されるまでにはかなりの時間がかかります。また、変異株やオリンピック・パラリンピックの影響も危惧され、今後も予断を許さない状況が続くと思われま

す。当院では、発熱者への対応や新型コロナウイルス感染症患者さんの入院治療を引き続き担って参ります。また、一般住民の方々へのワクチン接種も積極的に行っております。新型コロナウイルス感染症のパンデミックが収束するまで、地域の皆さまには大変なご迷惑とご不自由をおかけしますが、事情をご理解いただき、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

2021年6月25日

大分三愛メディカルセンター

病院長 森 義顕